

平成28年第16回福岡県教育委員会会議（臨時会）会議録

1 開催日時

平成28年9月13日（火）14時00分から14時46分まで

2 場所

福岡県庁4階 教育委員会会議室

3 出席委員

奥田竜子、清家渉、久保田誠二、宮本美代子、住吉徳彦、城戸秀明（教育長）

4 欠席委員

なし

5 出席事務局職員

教育次長 西牟田龍治、理事 友野晃、総務部長 辰田一郎、
教育企画部長 吉田法稔、教育振興部長 原田靖、総務課長 木原茂、
財務課長 山口洋志、企画調整課長 日高公德、教職員課長 上田哲子、
高校教育課長 中島良博、体育スポーツ健康課長 寺崎雅巳

6 傍聴者等数

1名

7 会議

14時00分、奥田委員長が開会を宣言し、本日の議題について非公開発議の有無の確認を行った。

第33号議案「職員の退職手当の取扱いについて」は、久保田委員から、個人情報に関する案件のため非公開とする発議があり、直ちに採決され、出席委員の3分の2以上の賛成をもって非公開と決定された。

その他の議案については、非公開の発議なく公開と決定された。

（1）報告

- ・教育費予算に対する意見の申出について（9月補正分）

山口財務課長から、平成28年9月定例県議会に提案される平成28年度一般会計補正予算のうち、教育に関する事務に係る部分の9月定例県議会提案について、知事から意見の聴取があり、福岡県教育委員会の事務委

任等に関する規則第4条第1項の規定に基づき教育長が臨時代理をしたので、同条第2項の規定により報告し、承認を求めるものである旨の説明があった。

これは、平成28年4月の熊本地震により、被害が生じた県立スポーツ科学情報センターメインアリーナ天井の改修工事に要する経費である旨の説明があった。

次いで審議が行われ、清家委員から、天井以外の改修の必要性について質問があった。

これに対して、寺崎体育スポーツ健康課長から、改修工事の実施に伴いフロアの改修が必要となるほか、照明のLED化も行う旨の説明があった。

次いで、住吉委員から、これまで当施設で実施されてきた各種大会の改修期間中の対応について質問があった。

これに対して、寺崎体育スポーツ健康課長から、大会主催者等のニーズに合った近隣の施設を紹介するなどの対応をしている旨の説明があった。

次いで、奥田委員長から他の意見の有無を問い、これについては承認された。

(2) 議事

- ・第31号議案 福岡県立高等学校学則の一部を改正する規則の制定について
- ・第32号議案 福岡県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について

第31号議案及び第32号議案については、いずれも県立高等学校等の入学に関しての福岡県教育委員会規則の一部改正に係る案件であるため、一括して審議することとされた。

日高企画調整課長から、第31号議案については、平成29年度県立高等学校入学定員の変更に伴い所要の改正を行うものであり、入学定員の設定については、「福岡県高等学校生徒受入れの長期計画策定協議会」が10年ごとに提言する長期計画に基づき公立・私立が協調して生徒の受け入れを図っていること、平成29年3月の中学校卒業生見込数が前年比で約100人程度の増加が見込まれることもあり、来年度の県立高校の入学定員は、全日制課程普通科で4学級160人の増、全日制課程工業科で1学級40人の減、定時制課程普通科の学年制で1学級40人の減、単位制で1学級40人の増、通信制課程については変更しないものとする旨の説明があった。また、香椎高等学校の学科名の変更について、三池工業高等学校の募集形態について、3つの分野に分けて募集する旨の説明があった。

また、第32号議案については、魅力ある県立高等学校づくりのための

学校活性化方策等として、通学区域の拡大を行うことに伴い、所要の改正を行うものであり、学科・コースの学区拡大については、県内4地区全てに同種の学科・コースが配置されていないものは学区を全県とする考えに基づき、北九州高等学校の体育コースのほか9校の2学科9コースにおいて、通学区域を全県とすること、平成29年度から那珂川町立福岡女子商業高等学校が私立高校に移行予定であることを踏まえ、那珂川町の中学生の公立高等学校の選択の幅を確保するため、地域が隣接する早良高等学校の通学区域に那珂川町を加えるものとするものである旨の説明があった。

次いで審議が行われ、久保田委員から、学級の増減に伴う教員の増減と負担感への影響について質問があった。

これに対して、日高企画調整課長から、1学級増に伴い1ないし2名の増員が考えられるが、学級増よりも学級減に伴う教員減が、より教員の負担感に影響を与えていると聞いているとの説明があった。

次いで、宮本委員から、三池工業高等学校は志願倍率の状況はどうなっているのかということと、入学定員減に対する対応について質問があった。

これに対して、日高企画調整課長から、中卒者の減少により志願倍率は低迷しているが、三池工業に設置されている学科はいずれもニーズがあるため、1学級を減じた上で、現行の5学科を大きく3つの系にまとめて募集を行うことで対応する旨の説明があった。

次いで、住吉委員から、福岡中央高等学校で1学級減となっている要因について質問があった。

これに対して、日高企画調整課長から、現状の入学定員を維持すると教室が足りなくなることが要因である旨の説明があった。

次いで、住吉委員から、今回、コースの通学区域を県内全域とした理由について質問があった。

これに対して、日高企画調整課長から、県内全ての地域に置かれていないコースについて、通学区域の拡大により中学生の選択の幅が広がることとなり、また、県立高等学校の活性化の一助になると考えている旨の説明があった。

これに対して、住吉委員から、コースの通学区域の拡大により、より一層特色化を図らなければならないと思うが、具体的にどのような検討がされたのかとの質問があった。

これに対して、中島高校教育課長から、カリキュラムマネジメントや、指導主事を各高等学校に専属させることにより、魅力ある学校になるよう対応していきたい旨の説明があった。

これに対して、住吉委員から、今回の通学区域の拡大により、各コースがこれまで以上に特色を出し、内容を充実させる必要があると思うので、

今後も前向きに検討するとともに、学校案内等により丁寧な周知を図ってほしい旨の意見があった。

奥田委員長から、他の意見の有無を問い、第31号議案及び第32号議案は原案どおり可決された。

公開審議はここまでとされ、奥田委員長から、傍聴人に対して退出が求められた。以後非公開にて審議を行う。

(3) 議事

- ・第33号議案 職員の退職手当の取扱いについて

上田教職員課長から、福岡県職員の退職手当に関する条例第15条第1項により退職手当の額の全部の返納を命ずる処分を行うに当たって、人事委員会への諮問及び退職手当の返納命令について議決を求めるものである旨の説明があった。

次いで審議が行われ、第33号議案は原案どおり可決された。

奥田委員長が閉会を宣言し、14時46分閉会した。